

2003年7月25日

## 次世代Web型代理店システム『ABCシステム』の3社共同運用開始について

あいおい損害保険株式会社  
株式会社損害保険ジャパン  
日本興亜損害保険株式会社

あいおい損害保険株式会社(社長 瀬下 明)、株式会社損害保険ジャパン(社長 平野 浩志)、日本興亜損害保険株式会社(社長 松澤 建)の3社は、「次世代Web型代理店システム」の共同開発に向けた検討を2002年4月から進めてまいりましたが、この度、本システムの第1次開発が終了し、2003年7月から3社共同での本番運用を開始いたしましたのでお知らせいたします。

### 1. 『ABCシステム』の概要

3社が共同開発した『ABCシステム』は、各社システムの機能、画面識別の独自性を保ちながら基本的な操作性・画面設計・運用方法等の共通化を実現いたしました。共同開発の基本方針は「スピード」と「コストシェア」であり、代理店に対する拡張性・接続性・操作性の優れた「次世代Web型代理店システム」の提供に際して、各社開発期間を大幅に短縮することができました。また、併せて3社のシステムを共同で運用することによりコスト削減を図ることを可能といたしました。

### 2. 次世代Web型代理店システムの名称および取り組み

本システムの3社統一名称として、「ABCシステム (Agent Business Cooperative System)」を用います。各社の名称および対象代理店数は以下のとおりです。

#### < 1 > あいおい損害保険

- ・名称 : *I - BROAD powered by ABC*
- ・対象代理店数 : 約1万6,000店

#### < 2 > 損害保険ジャパン

- ・名称 : *SOMPO J - NET powered by ABC*
- ・対象代理店数 : 約2万5,000店

#### < 3 > 日本興亜損害保険

- ・名称 : *NK - Prime powered by ABC*
- ・対象代理店数 : 当初は約店1万3,000店、その後2万3,000店まで拡張

### 3. 『ABCシステム』の特徴

#### < 1 > 集中サーバー化による大型化・多店舗化対応の実現

『ABCシステム』は、従来代理店のパソコンにインストールすることで提供していた各種プログラムならびに顧客契約データベースを集中サーバー内に保持し、インターネット経由で利用する形態で、複数利用者の同時アクセスも可能な設計をとっています。

#### < 2 > 代理店のシステム導入コスト・運用コストを軽減

インターネット活用・集中サーバ化により、専用機器・ソフト等はいっさい不要のため、既存機器の有効活用を含めて低コストで導入が可能です。

#### < 3 > メンテナンスの機動性アップとコスト削減

従来はパソコンに専用ソフトをインストールする形態で展開しており、バージョンアップ等のメンテナンスにかかるコストは莫大でした。『ABCシステム』では、サーバの各機能にアクセスする形態をとりました。この結果として、メンテナンスコストの大幅削減が可能になりました。

### 4. 『ABCシステム』の共同運用

#### < 1 > 共同運用によるコスト削減

3社でPCサーバでの共同運営を実現し、また開発においてもシステムインフラ(基盤)の設計、構築手順の共通化、アプリケーション開発における仕様の共通化、標準化を実現したことにより、単独で行う場合に比べ、コスト削減、開発のスピードアップが可能となりました。

#### < 2 > サーバ運用の信頼性向上

安定的なサーバ運用を実現するため、運用ソフトによる定常運行の自動運転と障害検知の早期化・集中監視を実現しました。

また、ほぼ全ての機器で二重化の構成をとっており、高い信頼性を実現するとともに、ノンストップ運用を実現しています。

### 5. 『ABCシステム』の今後の展開

今後、3社で代理店の利便性を一層向上するような機能等について、引き続き、検討、開発していきます。

以上